

## (歳入確保策等)

(問) 県の歳入には主にどのようなものがありますか？またそのシェアはどうなっていますか？

(答) 平成18年度の普通会計における歳入の決算は下表のとおりです。  
主なものとして地方税、地方交付税、県債、国庫支出金等があります。

本県の特徴としては、自主財源である地方税のシェアが小さく、依存財源である地方交付税や国庫支出金の比率が高くなっています。

また、道路を始めとする社会資本整備が遅れているため整備を進めてきましたが、その財源として県債を活用してきたことから、県債の割合は全国平均に比して高くなっています。

## 内訳

	金額 (億円)	構成比		
		本県	全国平均	九州平均
自主財源	2,707	36.2%	54.2%	36.6%
うち地方税	1,697	22.7%	37.9%	23.7%
うち法人2税	495	6.6%	13.4%	7.5%
依存財源	4,766	63.8%	45.8%	63.4%
うち地方交付税	2,226	29.8%	17.8%	28.9%
うち県債	1,009	13.5%	11.1%	12.9%
うち国庫支出金	1,186	15.9%	11.4%	17.1%

自主財源である地方税の比率が小さく、依存財源である地方交付税の比率が高い。

また、県債は投資的経費に連動することから、全国平均に比して高い。  
法人2税とは、法人事業税、法人県民税のことです。